

事務事業名		農村地域防災減災事業負担金(沢田・奥沢田ため池)		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道G	課長名	細木浩之
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	山本大策	電話番号	0854-40-1053 (内線) 2403
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。			
	基本事業名	〈097〉農業基盤の整備・保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 5 5 3 6	土地改良事業 農村地域防災減災事業負担金	
目的:対象	担い手農家をはじめとする農家		意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R元 年度～ R6 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
耐震性向上を図るためのため池の改修 地震からの安全確保、豪雨による決壊防止のために必要なため池の整備
負担率: 国55%、県34%、市11%、地元負担なし
沢田ため池 1箇所 奥沢田ため池 1箇所

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 県単調査費の支出 現地確認 事業説明会、地元調整		R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 工事負担金の支出 現地確認 事業説明会、地元調整		
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	地元調整	回			5	5
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	沢田・奥沢田ため池	ア 調査・改修するため池の数	箇所			2	2
	イ						
	ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
老朽ため池を改修することで、安全かつ効率的に耕作ができる状態になる	ア 工事進捗率(事業費)	%			2	10	
イ							
ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
・沢田・奥沢田地区(県単調査) 事業費: 1,210千円 市負担: 605千円(負担率50%)	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				5,400
	その他	千円				
	一般財源	千円			605	650
	事業費計(A)	千円			605	6,050
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	人			2	
	延べ業務時間	時間			60	
	人件費計(B)	千円			254	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			859	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H30年の豪雨災害以降、ため池改良などの防災減災事業については国土強靱化対策のため比較的予算がつきやすくなっている。	特になし	地元からは早期の完成を望む声が多い。

事務事業名	農村地域防災減災事業負担金(沢田・奥沢田ため池)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	定率負担をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	改修ができなくなり、安全で効率的な耕作ができなくなる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	県営事業であり、他の類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	改修に必要な工種を経済比較を行ったうえ算出しているため、削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	負担金業務であるため、削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	全体を調査したうえでの緊急性を考慮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	災害時のリスクを減少させるためにも積極的に取り組む必要がある。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
<p>今後も同様に適正な執行に努める。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			